

『最近の情勢と今後の文化政策～東日本大震災から学ぶ、文化力による地域と日本の再生（提言）』〔平成 24 年 9 月 28 日〕

～平成 25 年度予算案等への反映状況～

(1) 被災地への支援策

(単位：百万円)

提言内容	対応方針・関連施策 (○予算、▽税制、◇条約・法令等、□指導・通知その他)	平成 25 年度 予算案額	平成 24 年度 予算額	備 考
長期的展望に立つ支援の必要性	□今後、文化審議会文化政策部会において、継続的にフォローアップを行い、長期的展望に立つ支援策を随時、提言する。			
被災地と芸術家や文化芸術団体等とのマッチングを行うコーディネーターの養成等	□「文化芸術による復興推進コンソーシアム」において復興推進員を委嘱し、被災地における文化芸術による復興・再生に向けた取組や今後の要望等について情報収集等を実施。(現在までに 24 名を委嘱)。			
小・中学校への芸術家等の派遣、被災自治体が企画する舞台芸術の鑑賞等への支援	○次代を担う子どもの文化芸術体験事業 (一流の文化芸術団体や芸術家による優れた舞台芸術の鑑賞、実演指導・ワークショップに対する支援)	4,784	4,502	
	○地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ (地域文化の再生やコミュニティの再構築、ひいては地域の活性化を促進するため、地方公共団体が企画する文化芸術関係事業を支援。)	2,936	3,215	
被災地における「アーティスト・イン・レジデンス」機能を高める施策の展開	○文化芸術の海外発信拠点形成事業 (被災地におけるアーティスト・イン・レジデンスの取組を積極的に支援し、国際文化交流の促進、コミュニティの再生に寄与するとともに、滞在する芸術家を通じた日本復興のメッセージの発信につなげる。)	177 の内数	145 の内数	

日本の文化芸術の力を海外へ広報し、復興の姿を発信	○文化芸術の海外発信拠点形成事業【再掲】	177 の内数	145 の内数	
	○文化広報力強化調査事業 (日本が有する文化の魅力を国内外に発信する広報力の強化のための方策を検討する調査研究を行う。)	46 の内数	—	【新規】
文化芸術の力を活用した復興教育への支援	○復興教育支援事業 (被災地における多様な主体による文化芸術の力等を活用した特色ある教育の取組等の成果を普及する。)	95	55	

(2) 日本全体における文化芸術に係る支援策(被災地に係る支援策も含む。)

(単位: 百万円)

提言内容	対応方針・関連施策 (○予算, ▽税制, ◇条約・法令等, □指導・通知その他)	平成25年度 予算案額	平成24年度 予算額	備考
大規模災害に備えて、関係機関等の中でのネットワークづくり、文化財に係る専門家等の中でのネットワークづくり	□平時からの関係機関等の中や専門家等の中でのネットワークの重要性を周知するなど、ネットワークづくりに向けた取組に努める。			
文化施設が、地域の文化活動の拠点、文化芸術に関する情報発信の拠点として本来の役割を果たしていくことが重要	◇劇場、音楽堂等の事業の活性化に関する法律に基づく指針の策定に向けた検討 (先の通常国会において、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」が成立(平成24年6月27日施行)。本法に基づき、劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針の策定に向けた検討を行う(平成25年3月策定予定)。			※「劇場・音楽堂等の活性化に関する法律に基づく指針の作成に係るヒアリング」を実施し、劇場、音楽堂等の関係者の意見を聴取(平成24年8月17日~24日)。 ※指針に関する国民からの意見募集を実施(平成24年11月22日~12月21日)。
	○劇場・音楽堂等が行う実演芸術の創造発信等への支援 (劇場・音楽堂等が行う、実演芸術の創造発信や実演芸術の専門的人材の養成、実演芸術の普及啓発活動等を総合的に支援することにより、文化芸術拠点としての活性化等を推進。	3,003	1,474	「劇場・音楽堂等活性化事業」【新規】 ※平成24年度までは「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業」(「舞台芸術創造力向上・発信プラン」の一部)として実施。

「地域のたから」である有形・無形の文化財の修理・復旧、防災機能の強化、継承等や、美術館・博物館等における取組への支援	○国宝重要文化財等保存整備費補助金 (国指定等文化財の所有者等が文化財の保存・継承・活用等を行うために必要な経費を補助。)	27,216	22,745	
	○被災ミュージアム再興事業 (東日本大震災で被災した博物館資料の修理、修理した資料の整理・データベース化、応急措置を施した資料を収蔵する場所の確保、復興に向けた各種事業や館の資料を活用した展覧会の実施等に必要な経費を支援。)	381	507	
地域の文化財の保存・活用を支える人材の確保 (ex. ヘリテージマネージャー養成)	○「文化遺産を活かした地域活性化事業」におけるメニューを活用 (同事業は、我が国の「たから」である地域の多様で豊かな文化遺産を活用した伝統行事・伝統芸能の公開、後継者育成、古典に親しむ活動への支援や、子どもたちが親とともに地域の伝統文化に触れる体験事業など、特色ある総合的な取組を支援することで、文化振興とともに地域活性化を推進する事業である。)	3,384 の内数	—	【新規】
	○「大学を活用した文化芸術推進事業」のメニューを活用 (同事業は、芸術系大学等の有する様々な資源を積極的に活用しアートマネジメント人材を養成するため、公演、展示等の開催も含めた実践的なカリキュラムを開発・実施する事業を支援するものである。)	450 の内数	—	【新規】
危機管理体制の強化として、非常災害時等を念頭に置く行動計画等の策定や、災害による文化財の滅失・き損等を防止するための保存管理体制の整備	□危機管理体制について、関係機関等間で周知・啓発等を行う。			
大学等も、専門的な能力を有する人材の養成に貢献することが重要。大学等という新たなリソースに着目し、文化政策の実施に大学等の組織的な参加を促進	○大学を活用した文化芸術イノベーション～大学からの文化力発信事業～【再掲】	450	—	【新規】

地域における文化の創造性や魅力を教育、福祉、観光・産業等の分野に活用し、海外への発信、地域の活性化を図る取組を促進	○創造都市ネットワークの推進 (地域に根ざした文化芸術を様々な分野(教育、福祉、観光・産業等)に活かし、国内外に発信する創造都市ネットワークの取組への支援を行う。)	11	34	
	□国は、日本の創造都市ネットワークの拠点(創造都市ネットワーク日本)の立ち上げを支援した。(平成25年1月13日創設、事務局:横浜市、参加自治体:約30)			
	○地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ【再掲】	2,936	3,215	
	○文化財建造物等を活用した地域活性化事業【新規】 (重要文化財等建造物、伝統的建造物群などの地域の「たから」を公開活用し、魅力ある地域づくりを推進する取組への支援事業を創設するとともに、安心・安全の観点から伝統的建造物群の防災対策を支援する。)	1,700	5,812 の内数	【一部再掲】 ※平成24年度においては、「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」の予算の一部で実施。
	○地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業【新規】 (史跡等の記念物や埋蔵文化財などの地域の中核となる「たから」を活かした振興・活性化を図るため、「公開活用」や「安心・安全」の要素を総合的に組み合わせた魅力ある地域づくりを支援する。)	3,200		
	○地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業【新規】 (美術館・歴史博物館を地域の文化の拠点として活性化するとともに、地域との共働の下、美術館・歴史博物館が有する多面的な可能性を生かした事業の展開を支援。)	1,010		
	○文化遺産を活かした地域活性化事業【新規】	3,384		

文化を各人の日常生活の一部と位置付けられるよう、文化の力に関する認識を普及	□国や地方公共団体は、各種会議等において、随時、周知・啓発等を行う。			
	○文化広報力強化調査事業【再掲】	46 の内数	—	【新規】